

羅臼町の住宅地で網に絡まるエゾシカを減らすために

文責：公益財団法人 知床財団 羅臼地区事業係

はじめに

羅臼町内の住宅地には、住民の皆さんが庭木や家庭菜園をエゾシカの食害から守るために用意した網が、無数に張り巡らされています。しかし網の目の大きさ（目合：めあい）が不適切なことが多いため、「エゾシカが網に絡まったので何とかして！」という通報が町役場に頻繁に寄せられています。エゾシカがまだ生きている場合は、町役場から業務委託を受けている当財団の職員が通報のたびに出動していますが、交通事故なども合わせると年間 30～50 回は突発的なエゾシカ事故に対応している状況です。早く対応しないと、動けないエゾシカを狙ってヒグマが住宅地にやって来ることがあり、とても危険です。また網に絡まったエゾシカは大暴れして地面を踏み荒らすため、庭の植物が食害ではなく踏みつけのせいで根っこまで全滅状態になることもあります。これでは、何のために網を張ったのかわかりません。

そこでエゾシカが網に絡まる事故を少しでも減らすために、当財団羅臼地区事業係である実験に取り組みました。その結果の一部を紹介します。

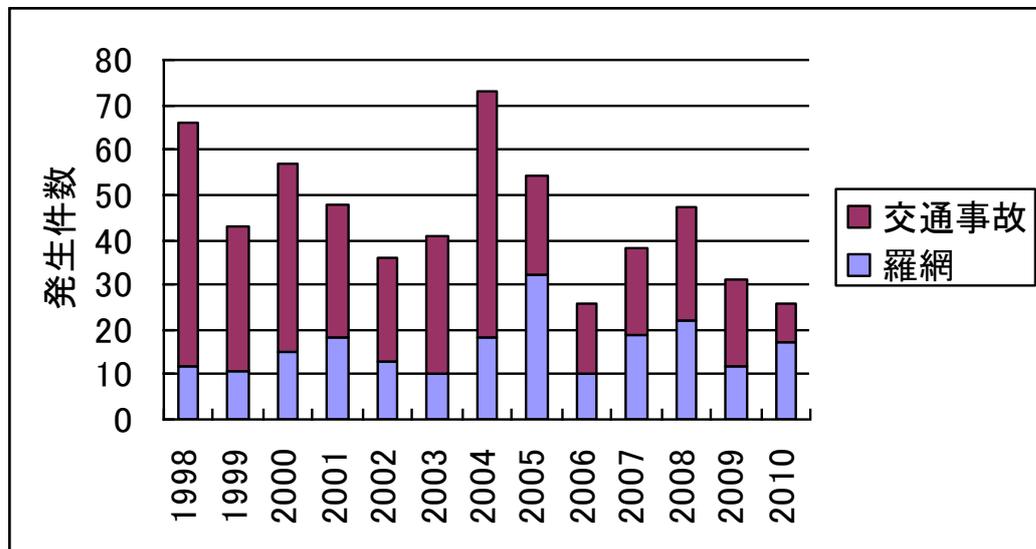


図 1. 羅臼町内におけるエゾシカの網絡まり事故および交通事故発生件数
(1998～2010 年度) .

※2009～2010 年度の数字は当財団出動分のみ（通報時既に死亡していた分 ～町役場や道路管理者のみが出動する～ は含まず）



写真 1. 網に絡まったエゾシカに、手で麻酔薬を注射しようとする当財団職員。



写真 2. エゾシカが暴れて近づくのが危険な時は、吹き矢で麻酔薬を注射することも（脇腹に吹き矢が刺さっている；矢印）。

実験方法

町内で入手しやすく、かつエゾシカが絡まりにくい網を確認するため、ポールと網で囲んだ 2 メートル四方の区画を 3 つ作り（写真 3）、その中に干し草を入れて、餌に誘引されたエゾシカが網に絡まるかどうかを観察しました。実験中のエゾシカの行動観察には自動撮影カメラを使い（写真 6）、昼夜を問わず 24 時間記録できるようにしました。

比較した網は以下の 3 種類です。

- ・網 A：目合 2.4 センチ、色は緑色。糸が太めで丈夫だが少々高価。1 メートル当たり 600

円。羅臼町内のホームセンターツルヤで購入（中標津のホームマックでも販売、ホームマックには茶色と黄色もあり）。**商品名：ロールネット。**

・網 B：目合 1.6 センチ、緑色。糸が細めなため、やや安価。1メートル当たり 86 円。1.5 m×50 m のセットだと 4,280 円。町内のツルヤで購入。**商品名：アニマルフェンスネット。**

・網 C：目合 16 センチ、黄色。1メートル当たり 53 円。通常は 1.7 m×20 m の単位で売られており、1,050 円。漁協購買部で購入。一時はツルヤでも販売されていた。「鹿よけ網」という商品名で安価なため、かなり町内で使われている。既に町内でエゾシカが絡んだ事例を何度も確認している。**商品名：モモイの網3兄弟 鹿よけ網。**

なお、網に絡まったエゾシカを食べにヒグマが来ることを避けるためと、干し草の餌付け効果を高めるため、実験はヒグマが冬眠している冬期（1月～3月上旬）に行いました。



写真 3. 実験区画の例（網 A）



写真 4. 干し草に誘引されて実験区画にやってきたエゾシカ（右が網 C、左が網 A の区画）

実験結果

- ・網 A → エゾシカが頭で網をグイグイ押ししたり、のしかかったりしても、絡まりませんでした。
- ・網 B → エゾシカは絡まりませんでしたが、強度が足りなくて、横から網を食い破られました（これでは庭の植物を守りきれない恐れが）。
- ・網 C → エゾシカが網に絡まる瞬間が自動撮影されました（写真 7, 8）。また、網の糸も数箇所かみ切られました。

これらの結果から、エゾシカから庭を守るために張る網としては、目合が細かい上に丈夫な網 A（商品名：ロールネット）がおすすめであることがわかりました。なお、漁で使わなくなった廃網を再利用している家もよく見かけますが、その場合も目合は 3～4 センチ以下の丈夫な網を使うべきでしょう。目合 6～7 センチだと中途半端で、オスジカの角がかなり奥まで入ってしまいます。またキタキツネが絡まった実例も町内で何件かあります（写真 12）。

結論：庭のシカ対策網には、「ロールネット」を使いましょう。

建て網や底曳き網の廃網を再利用する場合は、

目合 4 センチ以下の丈夫な網を使いましょう ！



写真 5. 網の修繕に来た当財団職員（矢印）を観察するエゾシカ（自動撮影カメラの写真）



写真 6. 観察に使用した自動撮影カメラ



写真 7. 網 C に絡まったオスジカ



写真 8. グイグイ引っ張って角に絡まった網 C を切ろうとする (この後脱出)



写真 9. 良い網 (網 A) ○



写真 10. 良い網 (網 A) ○



写真 11. ダメな網 (網 C) ✕



写真 12. 目合 6 センチの網に絡まったキタキツネ.

おわりに

以前から出勤のたびに住民の皆さんには、「目合の小さい網を使って下さい」とお願いしてきましたが、今回の実験で「目合が小さくて丈夫な網」にはやはりエゾシカが絡まりにくいことや、「具体的に市販品ではどの網なら大丈夫なのか？」ということも、自分たちの目でしっかりと確認することができました。これからは「是非この網（ロールネット）を使って下さい！」と積極的に住民の皆さんにアピールしてゆきたいと思います。ただし、庭に網を張るのはあくまで対症療法であり、根本的解決のためには庭を金網で囲む、エゾシカの住宅地への侵入経路をしっかりとした柵でふさぐなどの努力をすべきでしょう。どれもかなりお金と労力がかかる話で、一朝一夕には成りませんが・・・

普段はろくに庭いじりをしない男性職員たちが担当した実験でしたが、シカが網を押しただせいでポールが折れてしまったり、苦勞して張った網をかみ切られたりしたことで、エゾシカから庭を一生懸命守ろうとする住民の皆さんの気持ちが、よくわかった実験期間でした。

※今回の実験は、総務省の平成 21 年度補助金を受けた、羅臼町役場からの受託事業の一つ（ふるさと雇用再生事業）として実施したものです。